

町が浄化槽を設置・維持管理も

市町村設置型で 浄化槽を整備しています

生活排水を処理する方法には、公共下水道や集落排水処理施設、合併処理浄化槽などさまざまな方法があります。

また、自治体が行う合併処理浄化槽の整備には、個人が設置した浄化槽に補助金を交付する『個人設置型』と、市町村が浄化槽を設置し、維持管理も行う『市町村設置型』があります。

町では現在『市町村設置型』に移行し、町営浄化槽整備推進事業での高度処理型浄化槽の推進に努めており、指定工事店による町営浄化槽の設置を行っています。

町営浄化槽整備推進事業では、設置申請者に工事費の約2割の分担金(表①参照)を負担いただき、使用料を徴収しながら、くみ取り清掃や保守点検、法定検査といった維

持管理も町が行っています。

今後、新築などで浄化槽を希望される方は、町管理の浄化槽設置をご検討ください。詳しくは、役場環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。

表① 浄化槽設置分担金の額

浄化槽の種別	分担金の額
5人槽	165,500円
7人槽	208,340円
10人槽	276,800円

※分担金には、7条検査費用8,000円が含まれています。

Purified



地域おこし協力隊活動日誌 vol.39

サンドブラスト体験はじめました!

新型コロナウイルス感染症の影響で飛雪の滝キャンプ場が休業の間に、新しいものづくり体験として「サンドブラスト」の準備を進めていました。

サンドブラストというのは金属の錆び取り加工にも使われる技術で、細かな粒子状の金属などの研磨剤を圧縮空気に混合して吹き付ける工法です。体験では主にガラスコップを使って、サンドブラストで擦りガラスのような絵柄をつ

けてもらいます。最初に絵柄を切り抜いたシールを作り、それをコップに貼り付けることでシールのないところが削られて擦りガラスになるという仕組みです。この貼り付ける



サンドブラストで作ったオリジナルコップ

シールを作るのが繊細な作業で、お試して行った体験では、大人も子どもも無口になって作業するのが印象的でした。サンドブラストした後、コップに貼り付けたシールをはがすときは「ほんとにできてるの?」と言いながら完成品を見ると、綺麗にできあがっていて、みんなが驚いてくれるのが嬉しかったですね。

この体験は、キャンプ場から少し離れたところにある矢淵中学校の浅里分校だった木造校舎の教室で作業します。

趣のある校舎で、雨の日でも楽しめるサンドブラスト体験をしてみませんか。

サンドブラスト体験

- 【体験料】 1回(1絵柄) 1,500円～
- 【所要時間】 1～2時間
- 【参加要件】 小学生以上
- ▶詳しくは、飛雪の滝キャンプ場(☎21-1333)までお問い合わせください。

何でも聞いてください

町営浄化槽のここがポイント!!

環境衛生課 中野良太

維持管理も町に任せて安心

浄化槽は、設置後の保守点検、くみ取り清掃、県の指定検査機関による法定検査といった維持管理が大切です。

町営浄化槽整備推進事業では、毎月、使用料を負担いただくことで、これらの維持管理を行うだけでなく、プロアーなどが故障した場合の修繕にも対応しています。

Police 紀宝警察署 からのお知らせ

三重県警察官、警察事務官を募集!

あなたも、ともに助け合い、三重のまちと人を守る警察官を目指しませんか。

受験案内・申込書は、紀宝警察署・交番・駐在所で配布しています。



- 【受付期限】 8月24日(月)
- ※警察官と警察事務官の併願可能
- ▶詳しくは、三重県職員採用案内HP (<https://www.pref.mie.lg.jp/saiyo/>) まで

紀宝警察署(☎33-0110)

Resources ごみは資源 のコーナー

生ごみはしっかりと水切りを

生ごみの約80%は水分です。また、生ごみの腐敗や悪臭の主な原因は水分のため、しっかりと水切りをすることで、臭気・害虫防止に役立つとともに、ごみの減量化につながります。

生ごみを「燃料ごみの日」に出す際には、十分に水切りを行ってから出すようにしてください。

ポイント

生ごみの水分を減らすポイントは①濡らさない、②しっかりと水気を切る、③しぼる、④乾かすの4つです。水分を取るとごみ出しもラクラク!



役場環境衛生課(☎33-0338)

Pet シリーズ ペットと暮らす その18 ～いつまでもいっしょに～

今月のテーマ ノラ猫へのTNR活動を実施しています



猫は繁殖力の強い動物で、一般的に年に2〜3回出産し、1回の出産で4〜8匹の子猫を産みます。その地域にノラ猫が増えることにより、地域の方々のトラブルが増加してしまうことが考えられます。

そのため、町では、熊野保健所と連携し、一定期間、地域に住んでいる野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術(Neuter)を行う。元の場所に戻し(Return)、猫がこれ以上増えないようにする取り組みであるTNR活動をしています。

猫をめぐる被害の多くは、猫の発情と繁殖に関連しています。そのため不妊・去勢手術を行うことにより、地域で増える子猫の数を減らせるほか、発情期の鳴き声やけんか、尿の臭いが軽減されるなどの効果が期待されています。町では、これまでに約300匹のノラ猫にTNR活動を実施しました。

TNR活動を行う際には、事前に受け付けなどが必要ですので、詳しくは環境衛生課(☎33-0338)までお問い合わせください。